

NO.162

困ってしまう 「逆質問」

面接官はルーチンの質問として
「最後に何か聞きたいことはありますか？」
と聞きます。

聞く方は気軽に聞きますが、
答える（最後の質問をする）方は、
「何を聞けばいいんだろう」と面接対策
の段階から悩んでしまいます。

定番の質問もありますよね。
入社後の研修について聞くとか…。
否定はしませんがお勧めもしません。
しかし、これを聞いたらいいいですよ、
という正解もありません。
でも不正解はあります。

「それHPに記載してありますよ」とか

説明会参加必須の企業では「説明会で話しましたよ」と言われてしまうような質問は明らかなNGです。

ではどうしましょう？

私は皆さんにこのように話しています。

「聞く意味（理由）のある質問をしましょう」と。

例えば「この会社に入って感じたやりがいは何ですか？」とした場合、面接官からその答えを聞いたところで意味がありません。

感じ方は十人十色だからです。

「逆質問」もある意味自己PRです。

「えっ、そんなところに興味を持ったんだ」「目の付け所が面白いね」と思ってもらえたらラッキーです。

例えば、こんな質問はどうでしょう。

「転勤はどれくらいの頻度でありますか？」これだけだと「この人転勤したくないのかなと思われるかもしれませんが、
「将来、札幌で一人暮らしをしてみたいのですが、転勤はどれくらいの頻度でありますか？」としただけで、受け手の印象は少し違ってきます。

「入社後の研修は」も「〇〇の資格を取得したいのですが、資格取得の支援はありますか？」等などです。

私たち相談員も「最後に質問は？」は苦勞しています。

一緒に考えてみませんか？

尚、第30話も逆質問がテーマになっています。併せてどうぞ。

埼玉新卒応援ハローワーク
就職支援ナビゲーターからの一言

